

今日の講座で一番印象に残ったことは何ですか

- ・他の人たちが行っているミーティングを外から見るという体験を初めてしました。短時間でしたが、WBを使う利点をたくさん感じることができました。
- ・スパルタワーク（笑）でしたが、すごく面白かったです。可視化できるのってスバラシイです。皆が参加（それも前のめり）出来て、集中もできる。とてもイイ！書くのは・・・書き練します。
- ・ボードの役割。会話だけでは前回出た意見を忘れたりする。ファシリテーター自身も整理するための役割になると感じた。
- ・全員が参加している様子があり、講座を行う意味があった。
- ・ファングラをすることで話し合いが脱線せず有意義な話し合いができたこと。
- ・WBを利用すること。
- ・書き役のグラフィックとキャッチボールしながら議論をしていく・・・というのが印象的。

→ よいコンビでファシリテーションができると最強です。場数が必要ではありますが。

- ・ホワイトボード、模造紙の使い方。
- ・表と裏のテーマに差があったように感じました。（表：モデル討議と似たテーマだった。裏：具体的で話しやすい内容）
- ・モトオリさんが押していたお店を「私は知らない」と急に言い出したこと。（話し合いテーマ「打ち上げ会場」の中の話）
- ・ホワイトボードで出た意見が書かれると案外話し合いに参加していることが実感することができるので、皆が意見を出し合うのに有効な手法と思いました。
- ・昔からイラスト付きでまとめたり、「わかりやすく」まとめることは好きだったけど（学校の授業とか）またちょっと違うなと感じました。予想できない、答えのないものをまとめるって大変な作業ですね。
- ・ホワイトボードミーティング演習。
- ・前に話し合ったことを書いてもらえると、すぐにこれまでの経過を確認することができ、さらに話を深掘りできるのでとは感じた。
- ・机を斜めに人数分けをしたこと。
- ・TurboScan 入れます。
- ・「会議の流れを書かせてもらってもいいですか？」良いアイデアですね。これは使える！
- ・ホワイトボードと模造紙でのワークショップの違いがよくわかった。
- ・ホワイトボードの使い方（まとめる力と読みやすい字を書く力が必要だと思いました。私には難しい）打ち上げの議論は楽しく、本当に行きたくなりました。
- ・ホワイトボードに書くことって大事だなあ。意見を言った人とちがう意図で伝わったことでも、そう書いてしまったら、ホワイトボードの上の意見が優先されちゃう。ちゃんと話を聞いて、まとめて書かないと、とんでもないことになりそうです。
- ・今日の打ち上げをみんなで決めました。ホントに行くかのような雰囲気。場の安全が確保できていたんだと思います。ファシリテーショングラフィック、自分のノートに目もするようにホワイトボード使いましたが、

ホワイトボード派かもしれません。

- ・みなさんの意見の出すスピードが早くてついていけなかった。積極的な会議というのは白熱して良いです。
- ・話し合いをしながら記録していくことで全員が内容を共有でき、うまくまとめられていくことが新鮮でした。
- ・ホワイトボード、模造紙にかかわらず、議論の進行が即、文字化されていてこの手法に納得しました。
- ・前回、池山さんへの質問の答え。
- ・実験 WS 鑑賞
- ・自分が「書く人」になったこと。
- ・思いによらずファシリテーターになり「よしっ、やらねば！」と意気込んだにも関わらず・・・という感じでした。ここに来られている方はとてもやりやすいです。気張らず、できたらいいなあと思いますが、どうしても気張ってしまいます。
- ・ファシリテーション・グラフィック入門、ホワイトボード、模造紙、聴く、書く、グループブロックまとめ、マーク、3色（円卓紙、スケッチブック）実践の中の使いよさ、良くない点を教えてくださってありがとうございます。今回のお仲間は前向きで良く意見を言える方で、また相手の身になったり、いろんな能力を持った方達でまとめてくださるなど関心ばかりしていました。
- ・ファングラがとても有効であるが、すぐに誰もが使えるかという難しそう。

→ 難しく考えずに、とりあえずやってみる。というのをオススメしています。

質問があればどうぞ

- ・聞きながら書く・・・は、慣れただけなんではしょうか？

→ 慣れただけじゃないのかも知れないけど、慣れないことにはできるようになりません…

- ・ファシリテーターと進行係、司会とどう違うのでしょうか？

→ 進行係＝ファシリテーターという理解でよいと思います。プログラムに沿って「次は〇〇です」とやるだけではファシリテーターとはいえないと思いますが。

- ・他の場で、必死でファシやってWBも書いていたんですが、「あなたも意見を言いなさい！」と言われました。それが普通だろうと思うのですが・・・今日の「書いても良いですか」に対して、このことを思い出しました。
- ・会議が分かりやすく、有意義になるにはやっぱりファシリテーターと記録係の2人は必要？（1人で兼務するのは難しい？）

→ たぶん、ファシリテーターをしてWBも書きながら自分の意見を出すというのは、神ワザ的な難しさがあります。そういう意味でもファシリテーターは第三者が望ましいのですが…私の場合は、実際にはやらざるを得なくなることも多いですが、その際はテーブルの上に広げて、皆さんの前で模造紙を書きながら進行したりします。（背中を向けている時間をできるだけ減らしたい）

- ・筆記用具の色の使い方が難しく、振り返るとコンセプトがわからなくなります。何か意識した使い分けとかされていますか？

→ 参加者が少ない時は発言者別などで色分けしたりしますが、実は、私はやっているうちにごちゃごちゃになっちゃうことが多いです。ただし、経験上、単色よりも2色、2色より3色が見やすくなるようです。4色以上はまた見にくくなるように思います。

- ・ホワイトボードや模造紙に書く役割になった時に意見を聴きのがした時はどうすれば良いですか？

→ ホワイトボードの内容は皆の財産だと信じて、その財産の価値を上げるためにも「書けませんでした。もう一度」と、胸を張って聞き直して下さい。

- ・板書を上手くなるため、文具を上手く使いこなせるマジックの使い方とかに続き、いろんなテクニックを教えてください。

→ 単語の羅列にせずに、短文にする練習をすると、かなりいい感じになります。

- ・ファシグラもファシリテーターもどちらにも向いてないことを確信（笑）でも、たくさん学びました。ありがとうございました。

→ そんな…（笑）

- ・ワークショップ的技法をもう少し詳しく教えて欲しい（時間が足りない）ので、配布レジメでも述べてほしい。

→ 技法については第6回でまとめます

- ・別のファシリテーターの方が講師をされていた研修で、ホワイトボードの使い方について教えていただいたことがありますが、その方は「発言をまとめてしまわず（勝手に短く言いかえない）できるだけ全部書く」という手法をされていました。この手法についてどう思われますか？ケースバイケースという理解でよいでしょうか？

→ 奥が深すぎるご質問なので別紙にファシリテーション・グラフィック的にまとめました。読み込んでみて下さい。ぜひまたご質問を。

- ・ホワイトボード使っていて、長くなったら消して、新たに書いていくんですね？最初から最後まで議事録は見れない（共有できない）ってことですよね。

→ できるだけ裏表とか2枚とかを使って、その会合の内容は消さないで書き込むようにしています。どうしても消す場合には、皆さんに宣言して写真を撮ってもらい、自分でも写真を撮ってから消します。

- ・打ち上げは行くんですか？（笑）

→ 企画してください（笑）

- ・漢字がなかなか出てこない。どうすれば良いでしょうか。

→ 迷わずひらがなでOK。

- ・まとめるのが苦手でしたが、記録し、みんなで共有することで会議が充実すると思います。ありがとうございました。

- ・自分がやっていることを地域の人にさせたい。うまく人にさせるにはどうしたらいいか？（ファシリテーターとホワイトボードでの見える化）

→ まずはモチベーションを高めないといけないですね。やったら上手く進むんだという実感が必要だと思います。例えばこの講座に来ていただくとかはどうですか…

- ・ファシリテーターの緊張ほぐし、なにかいい方法がありますか？向いてないかもしれませんが…

→ みんな緊張してます。あなただけではありません。こればかりは場数を踏むという手法しかないかもしれませんね。他の人はなにかおまじないとかしてるんやろか。

- ・会議「初めて参加する方」どう紹介したり、尊重したり、意見を聞くか？

→ 自己紹介を内容にしているアイスブレイクとかもありますよね。そういったことをやるのかははどうでしょうね。気をつけたいのは、初めて来た人だけに自己紹介をしてもらおうと、皆さんは分かるけど、初めての人がなんにもわからないので注意したいところです。

- ・課題抽出→理由を考える→解決法の検討するやり方が王道ですか？もっといろいろと進め方を身につけたいです。

→ 実際「王道」です。ただし議題によると思います。「理由を考える」を飛ばすこともありますし、課題と同時に、資源を抽出しておくのもよくやります。（この場合、資源は課題解決のために使えるモノとして考える）

- ・ファシさん、ファシグラさん等の連携で「今日のポイント」なんかの下準備はしていますか？

→ 特にしていませんが、進行プログラムは共有していることが多いので、なんとなく次に何が起きるかは分かることになっています。時々ですが、誰かの講演会とか対談で、次に何が起きるか分からないまま、そのWBでファシグラをやらせてもらう。という武者修行をしたことならあります（笑）

- ・ファシの役割として、第3者の必要なと思いますが、会社の会議だと、どうしてもこっちの方向へ持っていきたい会議とかもあります。それはWSの範疇外ですか？

→ 残念ながら、それはWSの範疇外と思っています。それを会議と呼ぶかどうかは別として、ワークショップ的にやるならば、どこかで、「この結論に持って行きたい」と宣言するという手はあるかも知れません。

前期3回分の感想

- ・1回目、2回目はどうしても仕事で参加できなく、今回うけてすごく2回行けなかったこと残念に思っています。又、何かの機会にぜひ受けたいです！（動画ってないのですか？）後半3回も申し込んでいながらがんばって3回受けられるようがんばります。HPモ拝見させて頂いています。資料もダウンロードしました！！4月オープン西北のガーデンズの案内所！？とっても興味あります。近いうちに必ず行きたいです。

→ 動画はないです。すみません。

- ・「皆が参加できる」常に掲げているのがコレでした。どれもこれも楽しく、興味深く、体験できたのが感動です。もしかすると、会議は憂鬱なものじゃないかも？と思って来ました。ありがとうございました。

→ 憂鬱な会議イヤですよ。会議を楽しく、実りあるものにできるといいなあと思います。

- ・安全性、環境の大事さで全てが大きく変わっていくと感じています。
- ・1回目：初めてファシリテーターをつとめさせていただいて、大変良い経験をしました。2回目：不参加。3回目：今回はリラックスして講座を受けました。
- ・後期3回も楽しみにしています。
- ・新鮮で楽しい講座でした。後期の実践編も楽しみにしています。自治会の役員になったのをきっかけにまちづくりに関心をもち、「効果的な会議ができればいいな」と思っています。
- ・批判的で申し訳ないのですが、今日のワークショップのファシの方が、まず自分の意見を言った上で、どうですか？と聞くことが多く、伝えるのは難しいと感じました。

→ そういったことも、ファシリテーターの人に少しずつフィードバックできるような、安全な話し合いになるといいですね。

- ・2回目に参加できなかったのは残念で、後半はぜひ全回参加したいと思います。
- ・6月に受けた頃よりも、あ！これ使えそうだな。というポイントが増えました。きっと、職場の環境に思いあたるところが出て来たからだと思うのですが。
- ・色々な方法を使えば全員が参加できる会議にもっていくことができるんだと思いました。準備が必要なものもありますが、仕事で活かせるものは実践したいと思います。
- ・今回の講座で学んだことを地域の中で早く活用したいが、焦ってはダメ！
- ・盛り上がった時、お互い向かい合って視線が合って、集中出来てよかった。
- ・人が聞きやすい程度の声の出し方も工夫してみたいです。
- ・こんなに楽しんでいいのか？と思う位、充実し合えて、有り難かったです。
- ・現在、実践面では町内会の運営をしていますが、講座と町内会の運営のやり方のギャップを感じてきました。具体的には、進め方、手法が町内会では落とせにくい。会社の社内の会議とかでは統制とルールがききますが、町内会では地域の自由参加なので、進め方がむずかしい。

→ 実際難しいですね。でも「書いてもいいですか？」からはじめて見るとか、何か変革のアクションが始められるといいですね。そういうご意見が多かったので、第4回では、実際に自分のフィールドにどう持ち帰って、どう応用できるか。とか、ファシリテーター役じゃなくても個人的に会議をファシリテーションできる方法を皆で考えたいと思っています。

- ・第2回をやむを得ず欠席してしまい残念でした。
- ・為になります！！でも、センスがいますよね・・・？自信がないなあ・・・。

→ センスも必要な部分はあるのかも知れないけど、手法・技術の導入だけでも会議は変わると思っています。思い切ってWBを書き始めて見て下さい。

- ・台風で1回お休みしてしまったので期間があいてしまっていて残念でした。後期たのしみです。
- ・みなさん積極的に受講されていて楽しいです。後期も

楽しみです。期待しています。

- ・いろんな実習がすべて役立つように思います。ありがとうございました。
- ・一般的な会議のモチベーションを上げるにはとか議論しましたが、この講座の参加者の意識の高さに驚きます。自分にとってファシリテーターはまだ遠い道のりです。
- ・話し合いの場で生かせそうです。さっそく学んだ手法をつかってWSしてみたりもしました。実践できる場をつくっていきたいと思います。ありがとうございました。後期もよろしくお願ひします。
- ・結構、会議では外野でいることが多かったですが、参加する側の姿勢も変わりました。後期もよろしくお願ひします。
- ・興味ととももありました。自分がついていけないのかなと思いますが、私のよさも何かあるかもしれないのでできるだけ続けて来たいです。ありがとうございました。